

新型コロナワクチン いち早く

学内接種を開始

本学は6月25日から、学生・教職員のほか、習志野市立の幼稚園、小・中・高等学校の教育関係職員などを対象に、新型コロナウイルスワクチンの職域接種を開始した。学生・教職員の健康と安全の確保に努めるとともに、感染拡大防止を願う社会的要請に応じて学外の人々にも可能な限り助力した。7月5日で1回目接種の全日程が大きなトラブルもなく終了した。(2面に「接種までを写真で追う」)



6月25日から始まったワクチンの学内接種(津田沼校舎2号館で)



6月23日、到着したワクチン第1陣と瀬戸熊理事長



初日の6月25日、ワクチン接種を受ける学生

接種に向け大学の総力結集

新型コロナウイルス流行後、本学は、キャンパス正門に検温所を設けるなど感染対策を徹底したうえで一部対面授業を再開した。その後も全学生・教職員へのPCR・抗原検査の実施などを取り入れてきた。今回も、企業や大学の職域接種を開始するとの政府発表を受けていち早く実施を決断した。本学が職域接種に取

り組んだのは、ワクチン接種により学生とその周辺の人々への感染リスクを減らし、早く安全安心な学生生活に戻ってほしいとの願いからであり、また、地域へ接種の加速を図ればと考えたため。6月10日、学内で学生・教職員を対象にワクチンの職域接種を行うと発表した。

中、病院を離れて学内接種に依拠して医師はなかなか見つからなかった。交渉は難航したが、大学一丸となってあらゆる手段を尽くして粘り強く働きかけ、ようやく医師、看護師、薬剤師、事務スタッフを約20人ずつ両キャンパスに確保できた。

申請まで短期間、しかも初の試みとあって文科省と厚労省の間だけでも情報が錯綜し手探り状態。この間、本学は一方人にもほろ学生の接種スケジュールの作成、学生への呼びかけや接種希望調査など連日、膨大な作業に追われた。申請が承認されてからも関係者

と、瀬戸熊理事長はじめ関係者一同は、納品が不確定な中、ワクチンが到着したことに安堵し、胸をなで下ろした。接種会場は津田沼校舎2号館2階フロア、新習志野校舎体育館に設置を進め、受付や予診ブース、接種ブースなどを次々準備し、両会場受付には除菌ブースを設置した。リハーサルを繰り返しては配置を調整し、開始前まで確認作業が続いた。

7月2日から習志野市内の県立高等学校津田沼高等学校、実務高等学校および習志野特別支援学校の教育関係職員へのワクチン接種が始まることから、1日には千葉県教育長の富塚昌子氏が接種会場を視察に訪れた。1回目接種は7月5日までで1万1300人が接種し、終了した。2回目は7月23日から8月2日まで終了する予定。

1万1300人が接種

納品を待つばかりとなった。ワクチンは武田/モテルナ社製で、1回目接種分は6月23日に到着。無事冷凍庫に収められる

初日、朝9時から集まった学生たちは、あらかじめダウンロードした予診票を持参。番号札を張った椅子に座って、予診票のチェック▽問診▽接種▽アレルギーなどの異変に備え現場で約15分経過観察——と順調に進んだ。県内初となる大学での大規模接種の様子は、NH

心理的に少し楽な気持ちになりました(末口ポ4年)

「早く接種できてよかった」

学生たち

▽接種自体はインフルエンザと変わらない。ウイルスワクチンという気構えもなく臨みました。接種後もいつもと変わりなく感染防止対策をしています(情ネ3年)

▽若い世代への接種が進むことで、気づかないうちに高齢者にうつすことを少しでも防げれば、と思う(末口ポ4年)

▽会場でのソーシャルディスタンスなど安心して接種できた。副反応などの心配も友達同士で話

市内の人々

題になったが、それでも受けたほうがいいと決意しました(機械3年)

▽両親がもう接種しているの、自分にも順番が来たよかったです。特に痛みもなく、今はほっとしています(情ネ3年)

▽美家には祖父母もいるため、毎日外に出て自分のワクチン接種できたことで安心材料になると思う(情ネ4年)

▽アルバイトを掛け持ちして、不特定多数の方々と接する機会があるため、早く接種できて

▽基礎疾患があり心配していたので、いち早く接種できることは本当にありがたいことです。家族はまだ接種できず、予約も取れない状況です(小学校職員)

▽大学構内に初めて入りましたが、誘導も分かりやすく、ゆったりとした環境でしたので、リラックスして接種できました。とにかく、早く接種できてよかった(小学校職員)

NEWS CIT
ニュースシーアイティ 2021

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344
<https://www.it-chiba.ac.jp/>
毎月1回(8月を除く)15日発行

号外

写真で追う 新型コロナワクチン 学内接種まで

新習志野会場

6月18日、ワクチン保管用の冷凍庫が納品され着々準備が進む



体育館全面に床シートをはり、ブースや椅子などが整った会場（21日）



注射針納品



設営状況の確認作業(22日)

ワクチン到着、学生寮へ(23日)



津田沼会場

6月21日、ワクチン納品の前に温度設定を再確認する



津田沼会場でも設営が着々と進む(22日)



ワクチンの第1陣が到着(23日)



納品されたワクチンを冷凍庫に移し替え



ワクチンが収まった冷凍庫と瀬戸熊理事長



接種の流れをリハーサル(24日)



会場入口に設けられた除菌ブース



接種会場のサインボードを設置、誘導看板も次々と(23日)



リハーサルで再度、手順などを確認し接種開始へ(24日)